

これであなとも野菜博士！？～食のプロが広げる企業での食育～

株式会社 VACAVO^{ヴァカボ}（東京都）

平成27（2015）年に創立した株式会社 VACAVO では、企業向けに健康経営や福利厚生のための食育プログラムを開発し、その運営を行っています。食関連の資格保持者を対象としたコミュニティ「食オタ」のメンバーを中心に、企業の従業員が野菜の知識を学び、食を楽しむ機会を提供するプログラム「食育マルシェ」のほか、農業体験等を実施し、大人を対象とした食育の取組に力を入れています。

本事業については、従来の学校における子供向けの食育のみにとどまらず、大人世代への食育の必要性に着目したところから始まりました。小売店の大規模化が進み、八百屋で野菜を購入する際に保存方法や食べ方等について直接教わるような機会は減少しています。そこで、企業の従業員向けに食のプロが食育に関する知識をレクチャーし、健康経営や従業員の健康づくりをサポートするという、持続可能な形で食育の実践を継続して行うことができる現在の事業モデルに至りました。

食育マルシェでは、全国の食オタの中から厳正なオーディションを勝ち抜いた講師が、月替わりのテーマ野菜に関して、栄養に関する知識や保存方法、おいしい野菜の見分け方や調理のコツ等をクイズ形式で解説していきます。このセミナーは会場での集合開催に加え、オンラインでの開催やリアルとオンラインを合わせたハイブリッド形式での開催も実施しています。また、契約農家から仕入れた旬の野菜を実際に会場に並べたり、従業員の自宅に後日「野菜BOX」を届けたりすることも可能で、導入企業が従業員への福利厚生として、より実践的な知識とともに野菜摂取を促し、健康的な生活をサポートする取組の一助となっています。

導入企業からは、オンライン開催が可能なことにより、全国各地の従業員向けに食育マルシェを届けることができ、大変有り難いといった声もいただくほか、自社の社員食堂でマルシェのテーマ野菜とコラボさせたメニューを提供するなど、企業に応じた方法で工夫しながら活用いただいています。食育マルシェに参加した方からは、「栄養や調理のコツを教えてもらえるので、苦手だった野菜との距離が少し縮まった。」「野菜に興味が無かったが、積極的に食べるようになったり、スーパーの野菜売場に滞在する時間が長くなったりした。学んだ知識は友人や家族に伝えている。」という感想も聞かれ、野菜摂取や健康的な生活の実践の促進につながっていると感じています。

企業における従業員の健康課題は様々であり、今後は各企業の要望に応じたテーマごとのセミナー実施や定例日開催により価格を抑えた導入ハードルの低いプランの積極的な活用等により、引き続き、食の知識を持つ食オタが活躍する場を広げるとともに、企業を中心に、食育の知識を持ち、それを広げていく人を増やしていけるよう取り組んでいきます。



従業員向け食育マルシェ



導入企業の社員食堂における食育マルシェとのコラボメニュー